※令和３年度以前入学生用

「」学校番号	101

令和５年度　国語科

教科	国語	科目	古典Ｂ	単位数	２単位	年次	３年次
使用教科書	標準古典Ｂ改訂版　（第一学習社）						
副教材等	必携これからの古典文法〔改訂版〕～古文単語と一緒に学ぶ～（尚文出版） 新明説総合古典文法基本練習ノート（尚文出版） マスター古文２（京都書房） プレミアムカラー国語便覧（数研出版）						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・授業を大切にし、自ら学ぼうとする意欲を持つことが大事である。
・便覧・文法書などを使い、前もって予習をする。
・これまで学んだことを基盤に授業を展開していくため、今までの復習を常にしておくこと。
・分からないことは放置せず、質問などをしてその都度解決させること。
・提出物は必ず期限を守って提出すること。
・時代背景や当時の価値観を理解し、現代にも通じる知恵を学ぼう。

２　学習の到達目標

・古典としての古文と漢文、古典に関連する文章を読むことによって、我が国の伝統と文化に対する理解をさらに深め、生涯にわたって古典に親しむ素養を高める。

３　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:関心・意欲・態度	b:話す・聞く能力	c:書く能力	d:読む能力	e:知識・理解
観点の趣旨	古典を進んで学習し、伝統的な言語文化について理解を深めようとしている。			古典などに表れた思想や感情を読み取り、人間、社会、自然などについて考察したり、古典特有の表現を味わったりする態度を身につけている。	古典を読むために必要な、語句・文法などを理解し、知識を身につけている。
評価方法	・授業態度 ・発問評価 ・課題提出 ・音読 ・感想文 ・小テスト ・定期考査			・授業態度 ・発問評価 ・音読 ・記述の確認（ノート・ワーク・小テスト） ・定期考査	・授業態度 ・発問評価 ・記述の確認（ノート・ワーク・小テスト） ・暗唱 ・定期考査
	上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。				

※令和３年度以前入学生用

４　学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点					単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d	e		
一学期	歴史物語	『大鏡』を読み、藤原氏栄華の背景を知る。作品の文学史的位置付けを確認する。	○			○	○	a:古語を調べ、授業に主体的に臨み内容を理解しようとする。 d:出来事の流れを読み取り、登場人物の行動をつかむ。 e:古語・文法重要事項・文学史を身につけている。	・授業態度 ・発問評価 ・音読 ・課題提出 ・小テスト ・定期考査
	物語	『源氏物語』を読み、登場人物の行動・心情を正確に理解する。作品の文学史的位置付けを確認する。	○			○	○	a:文法事項を調べ全体のあらすじに興味を持っている。 d:口語訳し、登場人物の行動・心情を理解している。 e:冒頭を暗唱し、文法・文学史の知識を持つ。	・授業態度 ・発問評価 ・音読暗誦 ・課題提出 ・小テスト ・定期考査
二学期	日記	『蜻蛉日記』『紫式部日記』を読み、平安王朝の女たちの生活や慣習を理解する。作品の文学史的位置付けを確認する。	○			○	○	a:古語を調べ、内容を理解しようとしている。 d:口語訳し、作者の思想や感情を読み取っている。 e:本文を音読し、文学史上の知識を持っている。	・授業態度 ・発問評価 ・音読暗誦 ・課題提出 ・小テスト ・作文提出 ・定期考査
	「三国志」	『三国志』を取り上げ、中国古代の英雄たちの生き様について学ぶ。	○			○	○	a:句法を理解し、全体のあらすじに興味を持っている。 d:口語訳し、登場人物の行動・心情を理解している。 e:文学史の知識を持つ。	・授業態度 ・発問評価 ・音読 ・課題提出 ・小テスト ・作文提出 ・定期考査
三学期	韻文	・和歌・俳諧について学び、作品にこめられた心情を読み取り、理解する。 和歌の修辞法・文学史的知識を学ぶ。	○			○	○	a:古語を調べ、内容を理解しようとしている。 d:口語訳し、作者の思想や感情を読み取っている。 e:正しく音読し文学史上の基本的な知識を持っている。	・授業態度 ・発問評価 ・音読暗誦 ・課題提出 ・小テスト ・作文提出 ・定期考査

※　表中の観点について　a:関心・意欲・態度　　b:話す能力・聞く能力
c:書く能力　　d:読む能力　　e:知識・理解

※　年間指導計画（例）作成上の留意点

・原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において特に重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について

※令和３年度以前入学生用

〇を付けている。